

スマホで中小の運送業務効率化

全国的な人手不足が続いている。特に中小の運送業は、ITの導入が遅れがちで、効率化が進んでいない。ソフトウェア開発のオンラインコンサルタントは、スマートフォンを衛星利用測位システム（GPS）を活用した運送業向け業務効率化アプリを開発して、中堅・中小規模の事業者への導入実績を伸ばしている。後藤暁子社長は「日本のIT技術を世界に発信する」と意気込む。



オンラインコンサルタント

ことう・あきこ 東大経済卒。1999年米モトローラ日本法人（当時）に入社。2002年英ソフォス日本法人に入社。06年10月オンラインコンサルタントを設立し、現職。41歳。愛知県出身。

れた1999年に、新卒で通信機器大手、米モトローラ日本法人（当時）に就職。携帯基地局整備の営業を4年弱担当したが、業績不振で事業売却とともにリストラに遭い退職する。

業務の効率化だけでなく、燃料の無駄を省く最適なルートで配送できることから、二酸化炭素（CO₂）排出量削減による環境負荷低減にも貢献する。

導入企業からは「配車係の業務効率が大きくアップした」「スマホを使うため、車内への取り付け工事が不要で、入力作業が簡単でよい」など好評で、デリバリーサービスに活用している。ある大手外食チェーンは導入後、売り上げを1.5~2倍に伸ばした。

社会課題解決に貢献

減になり、会社側も労務管理を業員全体の働き方

後藤暁子社長



「スマート動態管理」を操作するドライバー。取り付け工事が不要で入力作業が簡単なスマートフォンを活用した

「受注単価が下がり、従業員の給与支払いにも苦労した」と振り返る。この経験から不安定な受託制作をやめ、自社製品・サービスのシフトした。

「ゲームや会員制交流サイト（SNS）ではなく、社会課題解決サービスを開発する」と運送業向けの「スマート動態管理」やタクシー検索アプリ「たくる」を事業化した。たくるは中堅・中小事業者など、約1万社に導入されている。

今後も新しいサービスを開発しながら、人工知能（AI）の活用にも取り組み、便利で快適な生活の実現に役立つという。

一方で、経営には、外資系での勤務経験を生かしている。フ

はほとんどなく、有給消化率もほぼ100%を実現している。

「IT業界の3K（きつい、帰れない、給料が安い）イメージを変えたい。クリエイティブな環境を整え、グーグル、フェイスブックのような、優れた技術を前面に押し出して成長したい」と小さくてもキラリと光る会社を目指す。

■会社概要

- ▷ 本社＝横浜市神奈川区鶴屋町2-21-1 ダイアビル5階
- ▷ 設立＝2006年10月
- ▷ 資本金＝1000万円
- ▷ 従業員＝8人
- ▷ 事業内容＝アプリ、システムの開発、販売